

シラバス（介護職員基礎研修）

指定番号 _____ 課程 介護職員基礎研修課程
 法人・団体名 ライフケアカレッジ佐賀校
 課程編成責任者 木津 裕美

研修区分 標準型(500 時間) 実習免除型(300 時間) 科目免除型(I)(200 時間) 科目実習免除型(I)(60 時間)
 科目免除型(II)(350 時間) 科目実習免除型(II)(150 時間) 演習及び実習(実習事業者のみ)

科目番号・科目名		(9) 生活支援のためのアセスメントと計画			
指導目標		・ケアプランのアセスメント、作成方法を学び、生活全体をプランする「生活プラン」を理解する。 ・アセスメントからケアプラン作成の流れと居宅サービス計画(在宅の場合個別サービス計画{問介護計画等})との関係を理解する。 ・ケアプランに基づいたサービスの流れと、事業所と職種間の連携について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学時間数	うち通信時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等(別紙でも可)	
① 生活プランの考え方	3	3	0	《目標》生活全体をアセスメントすることやニーズの把握の仕方について、事例に基づいて説明できる。活の活性化や QOL 向上につながる生活プラン、ケアプラン、サービス計画作成の重要性、および関係を説明できる。 《講義内容》生活全体のアセスメント・生活全体のプランニング支援・生活プランとケアプラン。	
② ケアプランとサービス計画の内容・機能	3	3	0	《目標》アマネジメントのプロセスとケアプランの内容、作成手順について説明できる。 《講義内容》施設ケアプランと居宅ケアプランの内容・居宅・施設サービス計画・各サービス計画(訪問介護計画、通所介護計画等)とサービスの関係。	
③ アプランとサービス計画の作成手順	12	12	0	《目標》アセスメントの意義、目的、留意点について説明できる。ICF の視点を生かしたケアプランの作成ポイント、ツールの使い方、存ツールへの応用の仕方等について、事例に基づいて説明できる。各サービス計画(訪問介護計画、通所介護計画等)の位置づけ、意義、及び作成手順について説明できる。サービス担当者会議やケアカンファレンスの意義について説明できる。セグメント、モニタリング、カンファレンスをする上での、コミュニケーション、観察・記録の重要性およびポイントについて、事例について説明できる。 《講義内容》アセスメントとニーズの把握・居宅ケアプランの作成・ICF に基づくアセスメントや実践への展開各サービス計画(訪問介護計画、通所介護計画等)の作成	
④ アプラン・サービス画とサービス提供の実際	3	3	0	《目標》ケアプラン等に基づいたサービスの流れにおける、介護職員の役割、事業所、職種間の連携のあり方について、事例に基づいて説明できる。 《講義内容》ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録介護職員のアセスメントと連携、ケアプラン・サービス計画の見直し。	
⑤ 地域生活支援のための地域環境のアセスメント技術と留意点	9	9	0	《目標》地域生活支援のための地域環境等のアセスメント、家族への説明等の点・方法・留意点について説明できる。 《講義内容》利用者の希望を把握・推測するための視点・方法・利用者のインフォーマルなつながりの把握の視点・方法・外出支援のプログラム等における安全への配慮の視点・方法地域生活支援の際の利用者・家族への説明・同意・契約	
修了評価	1	1			
(合計時間数)	31	31			